

漁船海難ゼロへ！

漁船海難月報 平成26年7月号
第七管区海上保安本部交通部安全課発行

平成26年6月七管内漁船海難 計12隻

(衝突:7隻 乗揚:2隻 浸水:1隻 推進器障害:1隻 その他:1隻)

【乗揚げ海難の概要】

・A丸船長は、飲酒した後に出漁したところ、居眠りに陥り、浅瀬に乗揚げた。

【衝突海難の概要】

- ・B丸船長は疲労のため、錨泊し仮眠をとっていたところ、居眠り運航していた貨物船C丸に衝突されたもの。
- ・D、E丸船長はともに見張りを行わず航行した結果、両船が衝突したもの。



今月の漁船海難は12隻。うち、**7隻が衝突海難**です。

見張り不十分...3隻
居眠り運航 zzz...2隻
不可抗力 ...2隻

相変わらず見張り不十分による衝突海難が跡を絶ちません。昨年の統計上、漁船の衝突海難の約9割は見張り不十分によるものです。逆に言えば、適切な見張りを行ってれば、約9割の衝突海難は防げるということです。

ちゅうもくポイント...運航中の注意点！！

- ☆船は近くにいない？近くに灯火はない？...常時適切な見張りを行いましょう！！
- ☆相手船が避けるだろう...相手船の針路に変化がなければ、自分から避けましよう！
- ☆眠たいなZZZZZ...眠気防止対策を考えて下さい！（眠気はいつ何時でも襲ってきます）
- ☆最も大切なもの...「事故は起こすまい」という心掛け。
心は態度(行動)に表れ、事故は未然に防げます。

漁船海難隻数 (速報値)	
衝突 ★	7
乗揚 ▲	2
浸水 ■	1
推進器障害 ●	1
その他 ◆	1
合計12隻	

県別 (内訳)	
福岡県	4
佐賀県	1
長崎県	5
大分県	2

